

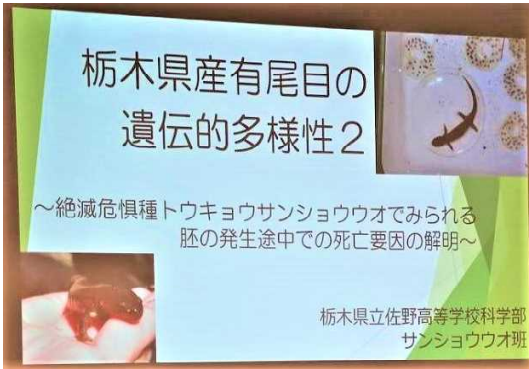


スーパー グローバル ハイスクール

佐高 SGH通信 2018

No. 22 (平成30年11月26日発行)

科学部10年連続〈最優秀賞〉 ～日本学生科学賞栃木県展覧会～



表彰式後のプレゼンテーション



部長（松澤さん）と副部長（亀山君）



部長の受賞者代表挨拶

2018年10月22日（月）、栃木県総合教育センターで、**第62回日本学生科学賞栃木県展覧会**の表彰式が行われ、科学部が最優秀賞（知事賞）を受賞しました。日本学生科学賞は、1957年に創設された、国内で最も伝統と権威のある科学系のコンクールです。栃木県展覧会では、県の代表として最優秀賞3点が選出され、中央審査（全国大会）に進みます。本校の科学部は、創部2年目の平成21年度から、**連続して10年間**、県最優秀賞を受賞しています。今年度も全国での活躍を期待しています。

<今年度の研究内容>

佐野市の天然記念物に指定されている、絶滅危惧種トウキョウサンショウウオについて、産卵する場所によっては、**胚の発生途中での死亡率が高い**ことに注目し、その要因を探究しました。

今回、胚の死亡の要因として、①繁殖集団の遺伝的多様性の低下、②産卵地の水に含まれる溶存酸素量の低下、の2つを仮説を立て、それらの関係について調査しました。その結果、胚の死亡率は**溶存酸素量と高い相関**があることを突き止めました。つまり、胚の周囲の水に含まれる酸素が減少すると、酸欠で死亡する胚が増える、ということで、本種の保護や産卵環境の保全を考える上で重要な知見です。こうした成果が高く評価されました。



トウキョウサンショウウオの産卵

科学部の過去10年間の活躍

年度	県最優秀賞	中央審査（学会発表等）
H21	知事賞	入選2等
H22	議長賞	入選1等 (日本爬虫両棲類学会発表)
H23	知事賞	(日本カメ会議発表)
H24	知事賞	(日本動物学会発表)
H25	知事賞	
H26	議長賞	入選3等 (淡水ガメ情報交換会発表)
H27	知事賞	(日本動物学会発表)
H28	議長賞	
H29	教育長賞	初の全国入賞 読売理工学院賞
H30	知事賞	

最優秀賞（知事賞、県議会議長賞、県教育長賞）